

未来のかけらを一緒に探そう

広がる無料塾や学びの支援

経済的な理由などで塾に通えない子どものために、無料または低価格で学習を支援する団体が、子ども食堂と並んで全国に広がりつつあります。区内で活動する団体から話を聞きました。
 ☆区内の学習支援団体について詳しくは、中野区社会福祉協議会中野ボランティアセンター
 ☎(5380)0254へ問い合わせを



▲区内の学習支援活動について詳しくはこちら

子どもたちとボランティア(サポーター)が織りなす新たなつながり

中野よもぎ塾

塾など有料の教育サービスを利用していない中学生のための無料塾です。週1回程度、中野駅周辺の会議室などで実施しています。

私が家庭教師をしていた時に、学校の勉強についていけず塾に行けない子は、学習に不利な状態をずっと引きずってしまうと知ったことが、活動を始めたきっかけです。

実際始めると、学習以外のケアを求められることや家庭環境に問題があると学習どころではないことを痛感しました。自己肯定感が低くすぐ諦めてしまう子や将来から目を背けてしまう子。そんな問題を抱える子に向き合っただけで信頼関係を築いていくと、目に見えて学力が上がる場合があります。自信や意欲を取り戻す中で、半年で偏差値が20

近く上がったケースも。

定員は毎年25人。学習だけでなく、塾生自身で企画するキャンプなど、生徒同士が仲良くなる機会を作っています。塾卒業後も同期と一緒に勉強して励まし合う子もいます。

登録サポーターは100人近くおり、20代~30代の社会人を中心に高校生や大学生、60代の方もいます。中には、高校卒業後にサポーターとして戻ってきてくれた元塾生もいますよ。緊急事態宣言期間中もオンラインで交流し、塾以外のことも相談し合える関係です。

多様な大人との関わりやここでの体験の中で、塾生一人ひとりが明るい未来につながる何かを見つけられたらと思っています。

代表 大西さん

フリーのライター・編集者で中野区在住歴20年。2014年に中野よもぎ塾を設立。塾の運営以外にも子ども食堂や全国の学習支援団体との連携に関わる



1. それぞれに合わせた教材で一对一で指導。学習内容はパソコンでサポーター同士共有し、次回に生かします
2. 後半はみんなが参加できるイベント。この日は生徒とサポーターがお題に沿った句を作りました

Interview インタビュー



会社員で5年ほど活動を続けています。ここで中学生が徐々に自信をつけ、成長する姿を見られるのがうれしいですね。自分の子どもは大学生ですが、子育てが終わっても、誰かの子育てのお手伝いできたと思うています。
 サポーター 藤田さん

よもぎ塾は、なくてはならない場所。勉強やキャンプなどのイベントを通して、主体的に行動する力を身に付けることができました。

塾の卒業生



寺子屋から広がる子どもたちへの温かいまなざし

薬師たきび塾

毎週土曜日に、有料の学習塾に通っていない中学生を主な対象に、上高田で無料の学習支援を行っています。活動を始めて1年半の新しい塾です。

「大人も子どもも集える寺子屋」が、たきび塾のコンセプト。地域のお兄さんお姉さん、おじさんおばさんとともに、5人~10人程度の生徒が和気あいあいと勉強しています。

私自身にぎやかなのが苦手な子どもだったからか、イベントは少なめで落ち着いた雰囲気です。そんな中、みんなでうどん作りをしたり、1期生の合格祝いをしたりしたのはうれしかったですね。現在定員に余裕があるので、興味のある方はぜひご相談ください。

私は子どもの頃病気で入院生活を送った経験があります。その際当時通っていた学習教室の先生が、毎日のように病室にプリントを持ってきて、採点してくれました。

普通の生活が送れない時に、家や学校以外の場所があることで気持ちが楽になったんです。今度は自分がその場所を作る側になりたいと無料塾を立ち上げました。

これからは病気を抱えている子どもにも、オンラインを活用して何かできないかと考えています。思いに賛同してくれる方や無料塾を必要としている子どもたちとの出会いを更に広げたいです。



代表 三浦さん

大学就職課職員。大学進学を機に中野区に上京し、家庭教師や塾講師の経験を積む。社会人2年目の時に薬師たきび塾を設立



1. 上高田区民活動センターでの授業風景。個別指導で行い、後半にレクリエーションをすることも
2. ボランティアのみなさん。15人ほどで活動中

Interview インタビュー



松が丘に住む専業主婦で、2人の子どもがいます。ツイッターでたきび塾の立ち上げを知り、勉強は教えられないけど、会議室を予約する手伝いぐらいなら...と参加しました。活動を通して知り合いが増え、地域の輪が広がったように感じます。
 副代表 中尾さん

上高田に住む団体職員です。子ども食堂を見学に行った時に代表の三浦さんと知り合い、教えることが好きだったので参加しました。その子に合わせてじっくりと教えられるのがこの良さですね。

ボランティア 島崎さん

